

むすこたちを いましめるアルマ

だい30しよう



アルマは、ニーファイ人のわるい行いを見て、かなしく思いました。そこでアルマは、むすこたち一人一人に、正しい生活をする^{はな}ことについて話しました。(アルマ35：15-16)



長男のヒラマンには、神にたよる^{おし}ように教えました。そして、自分がむかし教会をほろぼそうとした時、神がてんしをおくって、それをやめるようにおめいじになったことを話しました。(アルマ36：3, 6)



3日間、アルマは自分のおかしたつみのためにくるしみました。その時アルマは、お父さんがイエスについて教えてくれことを思い出し、ゆるしがえられることを知りました。(アルマ36：16-17)



アルマがゆるしをもとめてい^{おし}のると、くるしみはよろこびにかわりました。イエス・キリストをしんじ、くいあらためることによって、アルマはゆるしをうけたのです。(アルマ36：18-20)



その時から、アルマは人びとが自分と同じよるこびをかんじられるように、ふくいんを教えてきました。アルマが神をしんじてたよったので、神はアルマをしゅくふくしてくださいました。(アルマ36：24, 27)



それからアルマはヒラマンに、しんちゅうのはんに書かれたしんせいなきろくをわたして、たみのれきしを書きつづけるように言いました。(アルマ37：1-2)



「いましめをまもれば、神はあなたをしゅくふくし、あなたがきろくをまもるのをたすけてくださる。」(アルマ37：13, 16)



またヒラマンは、朝も夜もおいのりをするように言われました。「すべてのことについて主のみ心をうかがいなさい。そうすれば主はあなたのためになるたすけをあたえてくださる。」(アルマ37：36-37)



アルマは、ゾーラム人のゆうかなせんきょうしだつたむすこのシブロンをうれしく思っていました。シブロンは、ゾーラム人に右でうたれた時でさえ、しんこうをかたくまもりました。(アルマ38：3-4)



「イエス・キリストによらなければほかに人をすくう道はない。」アルマはそう言うと、シブロンにこれからもでんどうをつづけるようはげましました。(アルマ38：9-10)



もう一人のむすこコリアントンはいましめをまもらず、ゾーラム人にふくいんをつたえていた間、ちゅうじつなせんきょうしではありませんでした。(アルマ39：2-3)



ゾーラム人はコリアントンのわるい行いを見たために、アルマの教えをしんじようとしませんでした。(アルマ39：11)



アルマはコリアントンに言いました。「だれも自分のつみを神にかくすことはできないから、あなたはくいあらためなければいけない。」(アルマ39：8-9)



「すべての人はしからよみがえる。そして、正しい人だけが神とともにすむことができる。」(アルマ40：9-10, 25-26)



「今こそ人がくいあらためて、神につかえるべき時である。」(アルマ42：4)



「コリアントンよ、あなたはせんきょうしにめされているのです。ゾーラム人のところにもどって、くいあらためについて教えなさい。」(アルマ42：31)



こうしてアルマとむすこたちは、人びとにふくいんを教えつづけました。かれらは、しんけんの力によってでんどうしました。(アルマ43：1-2)